

## 【2年経験者研修(高等学校・特別支援学校)における他校種訪問について】

### 1 目的

他校種における特別活動や授業等の参観を通して、多種多様な教育活動に対する理解を深め、インクルーシブ教育の推進に向けた意識の向上を図ることを目的とする。

### 2 他校種訪問として認められるもの

他校種の課業期間中の通常の特別活動、授業参観等(運動会、体育祭、文化祭等の授業を伴わない学校行事が行われる日を除く。)

### 3 他校種訪問の対象となる学校の範囲

高等学校は県立又は国立の特別支援学校、特別支援学校は県立の高等学校・中等教育学校を訪問する。

### 4 他校種訪問校決定までの流れ

- ① 全ての県立学校は、受入可能日を設定し、「他校訪問(初任者)・他校種訪問(2年経験者)受入可能日・定員報告用紙」を用いて総合教育センターに報告する。
- ② 総合教育センターは、他校訪問・他校種訪問受入可能日の一覧を総合教育センターウェブページに掲載する。(5月中旬以降を予定)
- ③ 2年経験者所属校は、総合教育センターウェブページの一覧から訪問校を決定する。
- ④ 2年経験者所属校の校長は、訪問校の校長に受入れを依頼し、受入可能な場合は、事前に訪問校に依頼状(参考様式2)を送付する。

※ 受入れを依頼する際には、最新の総合教育センターウェブページの一覧を確認の上、申込みを行うこと。(定員に達した学校は、受入れを締め切ることがあります。)

### 5 他校種訪問終了後

2年経験者所属校の校長は、「他校種訪問レポート」(参考様式1)を令和6年2月29日(木)までに訪問校の校長宛てに送付する。

※ 訪問校は、今後の他校種訪問受入内容の検討に活用する。

### 6 その他

県立中等教育学校及び市立特別支援学校(政令指定都市及び中核市を除く。)に在籍する教諭については、この規定に準ずる。

#### 他校種訪問の内容と研修時間、実施時期および実施例

- 1日の研修時間は、半日程度(3時間以上)を目安とし、実施日程の中に他校種訪問レポートの作成を含めてもよい。
- 実施時期は、原則として6月～1月とする。

(裏面に続く)

【他校種訪問実施の流れ】(1)通常の他校種訪問の例

日時・会場	形態・時間	内 容	講 師
○月○日(○) ○○ 高等学校 特別支援学校	オリエンテーション (30分)	学校概要説明、施設見学 等	訪問校担当者 〈管理職、総括教諭・ 教諭(教務担当者・校 内研究担当者等)〉
	授業参観 (50~100分)	公開授業、研究授業、通常授業 等	
	協議・講話 (30~80分)	授業の振り返り、協議、質疑応答、意 見交換、特色ある取組についての説 明 等	授業参観者、 訪問校担当者、 授業担当者等
	まとめ (20分)	研修の振り返り、他校種訪問レポ ートの作成 等	訪問校担当者

【他校種訪問実施の流れ】(2)コロナ禍における他校種訪問の例

日時・会場	形態・時間	考えられる内容	講師
○月○日(○) 所属校	訪問準備 (30分程度)	事前の訪問校資料閲読(ホームページ閲覧、学 校教育目標の確認) 等	※訪問校が受講者へ、事前に 資料を閲読するよう指示しま す。
○○ 高等学校 特別支援学校	オリエンテーシ ョ ン 施設見学 (30分程度)	学校概要説明、施設見学 等	訪問校担当者 〈管理職、総括教諭・教諭(教 務担当者・校内研究担当者 等)〉
	授業参観 (30分程度)	公開授業、研究授業、通常授業、補習・講習、 模擬授業、事前に撮影した授業動画視聴 等 (1単位時間分すべての授業参観でなくても 可)	授業参観者、訪問校担当者 〈管理職、総括教諭・教諭(教 務担当者・校内研究担当者 等)〉、授業担当者 等
	休憩・消毒作業等(20分程度)		
所属校	協議・講話等 (40分程度)	授業の振り返り、協議、質疑応答、意見交換、 講話 等	訪問校担当者
	まとめ (30分程度)	研修の振り返り、他校種訪問レポートの作成 等	

- ※ 実線で囲まれた部分(授業参観)をプログラムに入れてください。
- ※ 破線で囲まれた部分は、訪問校の実状に合わせて内容構成をアレンジして構いません。
- ※ その他の内容については、訪問校の実状に合わせて柔軟な対応が可能です。訪問校が計画した公開授業研究会、校内授業研究会等のプログラム等に合わせても構いません。
- ※ 時間は、訪問校の日程に合わせて柔軟に実施してください。
- ※ 他校種訪問の時間帯については、2年経験者所属校と訪問校との間で相談して決定してください。

上記は一例です。訪問校の状況に応じて設定してください。